



# 暮らしの瓦版

## 2011年5月号



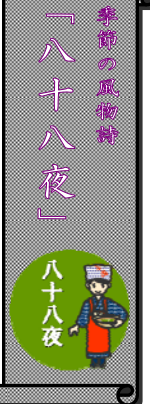
### 地球にやさしい快適「H」住宅(14)

#### 【停電時に太陽光発電を利用するには…「自立運転」機能】

3月11日に発生した東日本大震災では、大規模な停電が起き、いまだ復旧していない地域もあります。また、発電所の被災による電力の供給不足も長期化する見込みで、「計画停電」も実施されています。そんな状況の中、非常時に太陽光発電をうまく活用する方法について解説します。

停電になった場合、太陽光発電で得られる直流電力を家庭用の交流電力に変換する「パワーコンディショナー(パワコン)」という機器が自動的に止まり、太陽光発電の電気を使うことはできなくなります。ただし、太陽電池は日照さえあれば発電を続けます。そこでパワコンには非常用に使えるコンセントがついていて、この1か所だけは非常用電源として使うことができます。これを「自立運転」機能といい、このコンセントを「自立運転コンセント」と呼びます。パワコンには大きく分けて屋内型と屋外型の2種類がありますが、屋内型の場合はパワコン本体にコンセントがついています。屋外型の場合は洗面所や廊下などに非常用コンセントが別途設けられている場合が多い(オプションなどで付けない場合も有)です。どの場所に自立運転コンセントがあるか、またその使い方を確認しておき、いざという時にあわてないようにしましょう。その自立運転機能にはいくつか注意する点があります。

- ① 使えるのは1回路のみ、最大1500Wまで
  - ② 始動と復帰時に、手動での切替え操作が必要
  - ③ 天候次第で不安定、夜は使えない
  - ④ 大きな起動電力を必要とする機器(エアコンや電動モーターなど)には使えない
- このように天候次第で、容量にも限界がある自立運転機能ですが、全く電気が使えない停電時でも多少なりとも、電気を使うことができ、また、太陽熱利用機器のタンク内のお湯(水)は、電気・水道が止まった場合でも非常用水として使用することも可能です。少しでも電気が使えるというのは大変貴重なものですし、この機能のおかげで災害時に通信手段を確保でき、安否を確認できたという例もあります。あくまで非常用電源として緊急避難的に使用するべきもので、過度の期待をせず、その限界を知ったうえで上手に活用していくのがよいのではないのでしょうか。



### 「八十八夜」

雑節のひとつ。立春から数えて88日目である5月2日頃。八十八夜は春から夏に移る節目の日、夏への準備をする縁起のいい日とされてきました。間もなく立夏となりますが、まだ遅い霜が降りる頃でもあります。この頃の霜は「八十八夜の別れ霜」「八十八夜の泣き霜」と言われ農作物に被害が及びます。農家に注意をうながすために八十八夜が暦に載せられました。この時期に摘み取られた新茶は上質で不老長寿のお茶とされます。

### 生活 メモ 「東日本大震災(東北地方太平洋沖地震による災害)」

2011年3月11日14時46分頃に発生した日本の三陸沖を震源とする日本国内観測史上最大のマグニチュード9.0、海溝型大地震(東北地方太平洋沖地震)とそれに伴う津波による大震災のこと。地震調査委員会は、東日本大震災は宮城県沖など少なくとも4つの震源域にまたがり、3地震が連動発生した結果、マグニチュード9.0という巨大な地震になったのではとの見解を示しています。破壊断層は長さ400キロ、幅200キロの広範囲で、滑り量は最大約20メートルに達したといわれています。マグニチュード9.0は、最近では、2004年12月のスマトラ島沖地震(マグニチュード9.1)に次ぐ世界でも4番目のものとなり、地震エネルギーは1995年の阪神・淡路大震災の1000倍以上といわれます。死者及び行方不明者の数は合わせて3万人になったのではと見られ、関東、北海道でも死者がでる事態となりました。その後、余震は続いており、また12日には長野県北部を震源とする強い地震が、15日には静岡県東部を震源とする強い地震がそれぞれ発生。太平洋沖での地震による地殻変動に誘発された可能性もあるなど、日本全土に影響を与えることとなりました。この震災は津波災害ともいえ、大津波は北海道から千葉県にかけて発生。岩手県大船渡市の綾里湾では高さ30メートル超に達していたという報告もあります。特に岩手、宮城、福島、茨城など三陸沿岸広域に渡る集落では壊滅的な被害が発生し、名取川などの河口周辺から上流に向け数キロメートルにわたる広範囲が水没するなどの甚大な被害が出ました。

津波発生後、タンクなどの大規模な火災、爆発が各地で発生。一時は消火活動もままならない事態で真つ黒な煙で覆われました。また、この地震により、地盤の液状化も観測されました。千葉県では千葉市、浦安市、香取市、我孫子市などで液状化が発生。埋立地である浦安市広範にわたる地盤の液状化は、東京ディズニーリゾート等の商業施設にも被害を及ぼし、メディアでも取り上げられました。首都圏では交通網が麻痺し、自宅に帰れない「帰宅難民」が多くなりました。

大きな社会問題となっているのが、福島第一原子力発電所の事故です。原子炉は、地震の自動停止したものの津波により冷却能力を失い、国際原子力事象評価尺度レベル「5」の深刻な原子力事故が発生し、避難命令も出ています。周辺地域や海水に放射能汚染が広がり、農作物や生乳、水道水に各種基準値を上回る数値が出ており、パニック的状況も引き起こしています。まだまだ予断を許さない、また、いつ終息するとも分からない状況が続いています。

広域かつその被害の大きさに、誰しもが震撼させられたこの未曾有の大震災。被害に遭われた方々に心からお見舞いを申し上げます。そして、笑顔を取り戻せるようにとお祈りするばかりです。我々は、今自分のできる復興支援を考え、出来る限り実行しましょう。ひとりの力は微力でも、集まれば大きな力となります。

### 生活 メモ 「季節の言葉」

東京電力は、今回の大震災で福島の原子力発電所や太平洋沿岸の主要な火力発電所が被災して、電力供給量が落ち込んでいるため大幅な電力不足であると発表し、既に首都圏などでは計画停電が実施されました。今夏も深刻な電力の供給不足になることも確実と言われ、需要抑制効果を狙って、ピーク時間帯の電気料金を割高にする料金体系の見直し、サマータイム(夏時間)の導入、お盆など夏休みの延長や分散化、使用電力の上限設定などを盛り込んだ需要抑制計画など、様々な案が検討されています。

とはいえ、電力不足である以上、消費を減らす以外に方法はありませぬ。比較的に実行できる節電方法をまとめました。すぐできることは、 unnecessaryな明かりをこまめに消すこと。また、白熱球を使っている場合は、蛍光灯やLEDに替えると消費電力を大幅に減らせます。エアコンなど電気を使う冷暖房器具も極力使わず、使う場合もピークを避け、洋服で調節、部屋の冷暖房効率を高める工夫を行い、設定温度の調節に努めること。家族みんなで食事をとり、居間で一緒に過ごす時間を増やすのも一つの方法です。調理でも電気を使わないように、例えば、ご飯はガスコンロと鍋で炊いたり、冷めてもいい料理を作る、など。家電の待機電力を低くすることも大切です。電気ポットや温水洗浄便座など必要のない場合は電源プラグを抜けば、使用電力を減らせます。また、下水処理に多くの電力を使うため、節水も間接的に節電に繋がります。では次に主要家電製品の節電方法を記します。

テレビ：見ない時は、こまめに消しましょう。明るさや音量を抑えたり、消費電力が下がります。

冷蔵庫：庫内温度の設定を下げる。置き場所にも工夫。冷蔵庫の熱を放熱する空間をあけることで、消費電力を減らせます。また熱気や日光にあたらぬ場所におきましましょう。食材の詰め過ぎ、扉の開け閉めも控えましょう。

### 「災害用伝言サービス」

災害時、被災地の電話は繋がりにくい状態が続くため、家族等の安否確認や自分の安否を知らせるには、災害用の伝言サービス(171)や伝言板サービスが有効です。

声で伝言を約30秒間残せる「災害用伝言サービス」は通話規制下でも利用可能で、伝言10件まで保存でき、利用期限は2日間。一方、文字で伝言を残す「災害用伝言板サービス」は、インターネット接続機能のある携帯電話から書き込み、伝言は他社の携帯電話やパソコンからも閲覧できます。「無事です」「被害があります」「自宅にいます」「避難所にいます」という4つの欄からチェック、百文字までの伝言も残せます。今回の東日本大震災ではブログ、Twitterなど多くの通信手段で安否確認が取れたという話も聞かれますが、日頃から、非常時の連絡方法などを家族間等で話し合っておくことも必要でしょう。

修繕 リフォームから新築工事の建物の事  
優良土地活用から物件探索の土地の事

北本建設株式会社  
埼玉県北本市古市場 3-131 TEL: 048-591-1234  
URL: http://kitaken1970.com FAX: 048-591-0019

### 暮らしのカレンダー

5月 草月、稲苗月、五色月、雨月、建午月、月不見月、早苗月、写月、橘月、仲夏、梅月、浴蘭月

|    |       |     |         |     |        |
|----|-------|-----|---------|-----|--------|
| 1日 | メーデー  | 5日  | こどもの日   | 21日 | 小満     |
| 2日 | 八十八夜  | 6日  | 立夏      | 31日 | 世界禁煙デー |
| 3日 | 憲法記念日 | 8日  | 母の日     |     |        |
| 4日 | みどりの日 | 15日 | 沖縄復帰記念日 |     |        |